



JAPAN EMF INFORMATION CENTER

平成28年度業務実施状況

電磁界情報センター

平成28年度業務実施状況【情報調査G】(1/2)

1.情報収集・調査

1-1.電磁界関連情報(1次情報)の収集

- 【報道内容】新聞記事検索会社、コンサルタント会社との情報配信契約による情報収集。
- 【研究動向】より幅広い情報収集を目指し、ドイツ・アーヘン大学が運営する世界最大の情報データベースであるEMF-Portalと連携を図る。
- 【社会動向】市民団体機関誌購読、イベント参加やコンサルタント会社との情報配信契約による情報収集。
 - ▶ 報道記事約48件、研究動向約1599件、社会動向約37件収集

1-2.入手した1次情報の詳細調査

- 職員による文献調査、関係者インタビュー、現地調査などによる情報検証。
 - ▶ EU指令に伴う職業者ばく露法整備状況に関し、アンケート調査および現地調査を実施(3月下旬よりドイツ、およびイタリアの行政機関等を訪問予定)

2.情報整理・評価

2-1.電磁界データベースの整備

- EMF-Portalとの連携により入手する学術論文を整理・登録を行うとともに、JEICデータベース(学術論文)のEMF-Portalへの移行を継続実施。
 - ▶ 管理システムにおいて、JEICによる日本語データの直接入力を開始[詳細説明1]

平成28年度業務実施状況【情報調査G】(2/2)

2-2.報道等の内容精査

- 新聞記事および最近出版された書籍を中心に、記事内容の関係者インタビューや関係文献の調査を行い、結果の公表、報道機関への連絡等を実施。
 - 2月上旬に新聞各紙(神戸新聞、京都新聞、中部経済新聞、岩手日報など)が、北條祥子教授を主任研究者とする早稲田大学応用脳科学研究所の研究会のまとめた研究結果として「日本人向けの電磁過敏症質問票の開発および評価」の内容を紹介、これを受け電磁過敏症に対する国際機関の見解をJEIC-HPで紹介。(2月10日)

2-3.研究論文の個別評価

- 専門家ネットワーク、Rapid Response Group(RRG)を活用した迅速な論文評価と速報の公表を行う。
 - 5月に公表された米国国家毒性プログラム(NTP)による「携帯電話電波に関する潜在的ハザードに関する研究」の中間報告について、RRGによる評価を公表。(6月20日)

3.磁界レベルに関する調査

3-1.身近な発生源からの磁界測定

- 平成29年度上期までの予定で家電製品からの磁界測定を実施。
 - 平成28年度は、16種類48台の家電製品を計測 [\[詳細説明2\]](#)

平成28年度業務計画【情報提供G】(1/2)

1.情報提供ツールの整備

1-1.ホームページ

- 最新情報の提供
 - 更新回数43回(2月末現在)
- トップページレイアウト変更
 - 情報検索の容易性を考慮したレイアウトへの変更と、合わせてレスポンシブルデザイン(パソコン、スマートフォン等の画面大きさに合わせて自動的に画面構成を調整)へ変更。(平成28年度内に運用開始予定) **[詳細説明3]**

1-2.ニューズレター・メールマガジン

- ニューズレター・メールマガジンを定期発行
 - ニューズレターを4回発行(通算47号)、メールマガジンを6回発行

2.双方向コミュニケーションの実施

2-1.問い合わせ対応

- 電話、メール、Fax、来所による電磁界の健康影響に関する問い合わせ対応
 - 713回(平均65件/月)(2月末現在) 参考:平成27年度(平均71件/月)

[詳細説明4]

平成28年度業務計画【情報提供G】(2/2)

2-2.電磁波セミナー(初級向けの開催)

- 市町村の「後援」を受けた公共性の高いセミナーを地道に継続する。
 - ▶ 前橋市(4月20日、参加者23名)、秋田市(6月16日、参加者24名)
広島市(2月16日、参加者41名)にて開催

2-3.情報の媒介者を対象とした情報提供活動

- 学校保健関連等の学会、大会への出展およびランチオンセミナーの開催。
 - ▶ ランチオンセミナーの参加者1,573名(2月末現在) [詳細説明5]

2-4.対象層特化活動の充実(妊婦の知識啓発)

- 「健やか親子21」参加団体への啓発活動、妊婦関連の学会、大会への出展
 - ▶ 公益財団法人母子衛生研究会との連携について調整中 [詳細説明6]

2-5.要請による電磁界説明会の実施

- 消費者団体、地方公共団体等からの講師派遣要請への積極的な対応
 - ▶ 31回の依頼講演会を実施(2月末現在) [詳細説明7]

3.リスクコミュニケーション促進活動

3-1.磁界測定器貸出の実施

- 低周波測定器の貸出を継続実施
 - ▶ 平成28年度の貸出累計は164台(2月末現在) [詳細説明8]

平成28年度業務計画【管理G】

1.新規賛助会員募集、賛助会員数の維持・拡大(平成29年2月末現在)

- ▶ 新規会員4件(3号会員4件)の入会を得た
- ▶ 退会会員4件(3号会員4件)
- ▶ 総会員数は、1号会員1件、2号会員16件、3号会員61件

2.各種委員会の開催

- ▶ 運営委員会2回(平成28年9月29日、平成29年3月9日)実施

3.センター内教育の企画管理

- ▶ 新規出向職員への導入教育を実施(3名)

詳細説明

1. EMF-Portal(スライド7)
2. 磁界測定プロジェクト(スライド8~9)
3. ホームページレイアウト変更(スライド10~12)
4. 問い合わせ対応状況(スライド13~18)
5. 情報の媒介者を対象として情報提供活動(スライド19~20)
6. 対象層特化活動(スライド21~23)
7. 要請による電磁界説明会(スライド24)
8. 磁界測定器貸出(スライド25~26)

1. EMF-Portal

○EMF-Portal参画：平成26年9月

※EMF-Portal 電磁界に関する一般向けの広範囲なデータベース

(登録件数 約24,500件 内約5,900件詳細情報掲載:世界最大規模)

・ドイツ・アーヘン工科大学医学部病院

職業病医学研究所生体電磁気相互作用研究センター(*femu*)が運営

○日本語版運用開始：平成28年2月～ (平成28年6月に画面デザイン刷新)

○電磁界情報センターが実施する作業

・登録情報の翻訳

➤ 管理システムにおける、JEICによる日本語データ入力の開始に伴い、最新情報についても随時翻訳(平成29年2月より)

➤ 過去(平成26年以前に掲載されていた)データについては、3年程度を目途に順次翻訳中

(進捗状況)

[平成29年2月28日時点]

作業内容	独/英登録済み	日本語翻訳済み
用語集の翻訳	約3,000語	完了(100%)
論文タイトル翻訳	約20,000件	完了(100%)
論文詳細情報翻訳	約5,000件	約1,200件(25%)

(日本語版用の新システム及び新Webページの開発はアーヘン工科大学が担当)

2. 磁界測定プロジェクト(1/2)

家電製品から発生する磁界の測定

目的

- ・パンフレットやセミナーで紹介する家電製品より発生する磁界測定値の更新を行う。
現在は家電製品協会が平成15年に測定した実測データを使用している。
- ・なお、平成17年に国際的な磁界測定規格(IEC62233)が公表され、それに基づいた最新家電の測定結果が、平成25年に家電製品協会から公表されたものの、当該規格が国際的ガイドライン値に対する割合(%)を測定することとなっていることから、公表結果も国際的ガイドライン値に対する割合の公表となっている。
- ・このため、家電製品協会のデータは、複数の周波数成分を評価した正確なものではあるが、超低周波(50ヘルツ・60ヘルツ)の磁界の健康影響で話題となる $0.4 \mu\text{T}$ (数値)との比較はできない。また、貸出している測定器の測定値とも比較できない。

⇒国際的な規格に基づいた、正確なデータではあるものの、一般の方にはわかりにくい。センターで磁束密度(μT)の測定を行い、結果はホームページやパンフレット・セミナーなどで公開する。

計画

平成27年～平成29年末までに、身のまわりの主な家電製品40種類をそれぞれ3台程度測定する。なお、測定結果は、平成29年度末までに公開予定。

2. 磁界測定プロジェクト(2/2)

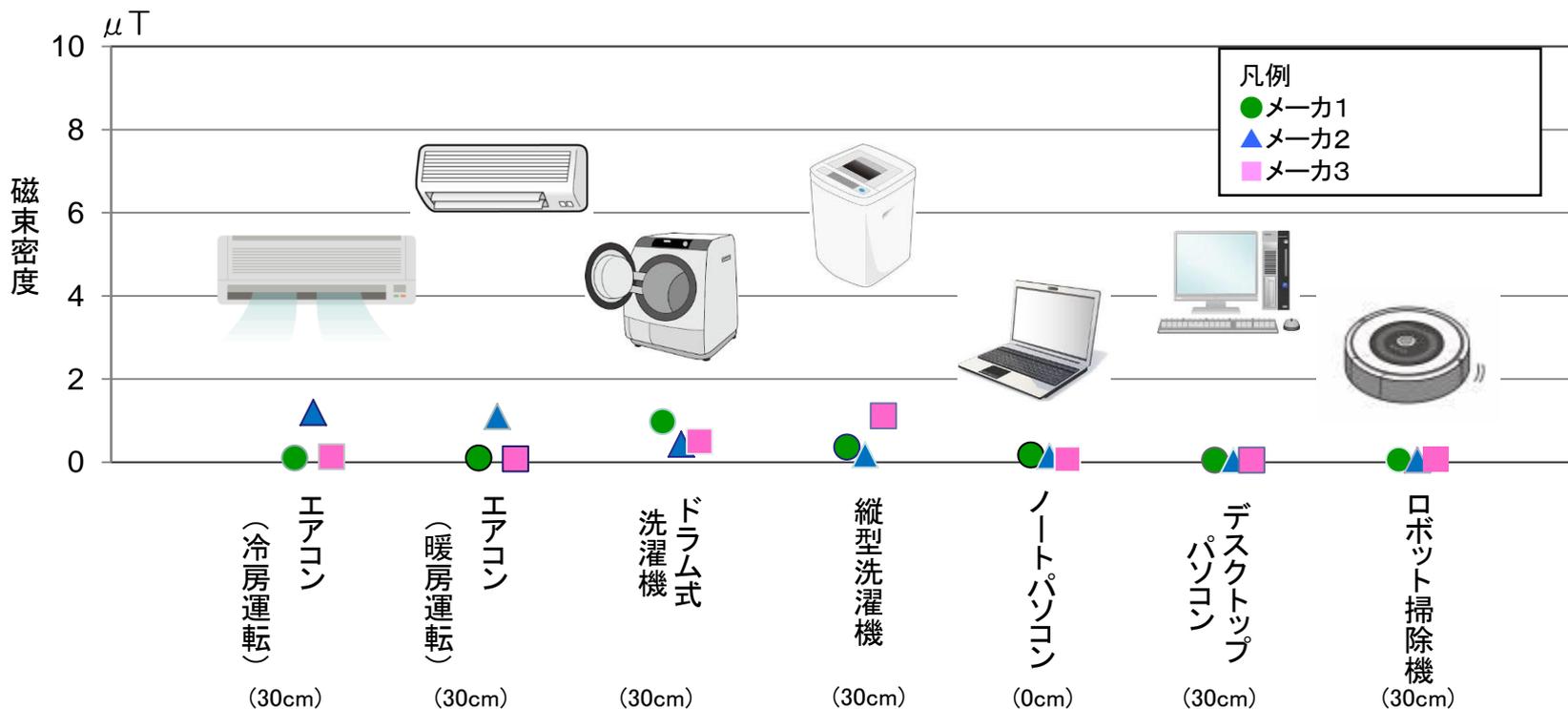
家電製品から発生する磁界の測定

今年度の測定結果

・平成28年度はエアコン、洗濯機、パソコンなどの16種類、48台について測定を実施(一部計画中ものを含む)

(参考)平成28年度測定結果(代表例)

・平成28年度測定を実施した「エアコン、洗濯機、パソコン、ロボット掃除機」の測定結果は以下のとおりであった。

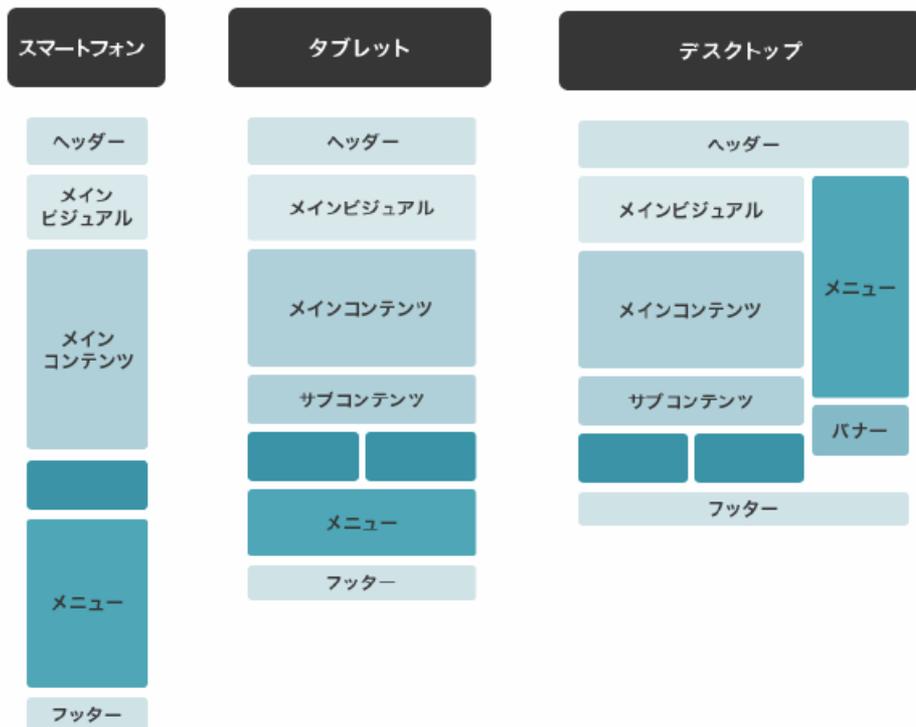


3.ホームページレイアウト変更(1/3)

電磁界情報センターのホームページトップ画面の簡素化を図りレスポンシブルデザイン※を採用した仕様に見直し。

※レスポンシブルデザインとは

パソコン、スマートフォン等の画面大きさに合わせて自動的に画面構成を調整。単一ファイルで全ての機器に対応するため、更新作業の簡略化・更新漏れ防止が可能。



3.ホームページレイアウト変更(2/3)

従来版

パソコン版

スマートフォン版

見たい動画を
クリックしてね!

電磁界情報センターって
どんな組織?

電磁界ってなに?

身のまわりの
磁界について

電磁波とは

変電所・送電線

TV・ドライヤー・掃除機

IH調理器・電子レンジ

携帯電話

鉄道・新幹線

その他の発生源

電磁(波)過敏症

WHO国際電磁界
プロジェクト
ホームページ(日本語訳)
閲覧はこちら>

- 電磁界情報センター
- センターのご紹介
- 賛助会員お申込み
- お問い合わせ先
- リンクについて
- センターの活動
- イベントの開催・記録
- 電磁界情報データベース
- 勉強会等への講師派遣
- 磁界測定器の貸出
- 研究提言・学会発表・調査報告
- その他
- リンク集

最新情報 What's New お知らせ Announcement

- 2017年2月28日 論文の紹介 NEW
論文紹介 (2017年2月後半整理分)
- 2017年2月27日 海外の動向 NEW
イスラエル政府の非電離放射線情報センター (TUNDA)ウェブサイト英語版のオープン
- 2017年2月15日 論文の紹介
論文紹介 (2017年2月前半整理分)
- 2017年1月30日 論文の紹介
論文紹介 (2017年1月後半整理分)
- 2017年2月10日
「電磁過敏症 人口の3.0~5.7%」の新聞報道について (補足説明)
- 2017年2月2日
ニュースレター第46号の掲載
- 2016年11月2日
ニュースレター第45号の掲載
- 2016年9月27日
リンク集 (国内のその他組織) 更新

イベントの開催案内 Event

平成28年度 経済産業省 主催
「電磁界の健康影響に関する講演会のご案内」はこちら▶
記事はありません。

電磁界情報センターは、経済産業省「電力設備電磁界対策ワーキンググループ」の政策提言を受け設立された組織です。技術の進歩にともない電界は日常生活では欠かせないものになりました。一方で、電力供給システム、情報通信システム、各種の製品・装置から発生する電磁界(電磁波)が、「1」の健康に何らかの影響をもたらすのではないかと、電磁界不安が

電磁波の健康影響

電磁波って体に
どんな影響があるの
動画で楽しく学べます!
視聴はこちら>>

ジェイクくんのなっとく!
電磁波

よくある質問と回答

報道解説

身のまわりの磁界の大きさ

国際機関・関係省庁

論文紹介・解説

発行物

- 電磁界パンフレット
- WHO (日本語訳)
- ニュースレター
JEIC NEWS
- メールマガジン

JEIC 電磁界情報センター
Japan EMF Information Center

- > トップページ
- > 電磁波とは
- > イベント情報
- > よくある質問と回答
- > 電磁波問題の経緯
- > 健康影響
- > 国際機関
- > 磁界測定
- > その他 (お問い合わせの多いご質問)
- > 講師派遣(無料)
- > 測定器貸出(無料)
- > センターのご紹介
- > 所長あいさつ
- > 理念・目的・運営方針
- > アクセス
- > 電磁波の性質
- > 規制関連
- > 磁界低減策
- > 電磁過敏症
- > センター設立の経緯
- > 主な活動

3.ホームページレイアウト変更(3/3)

改良版

パソコン版

28年度内に運用開始予定

スマートフォン版

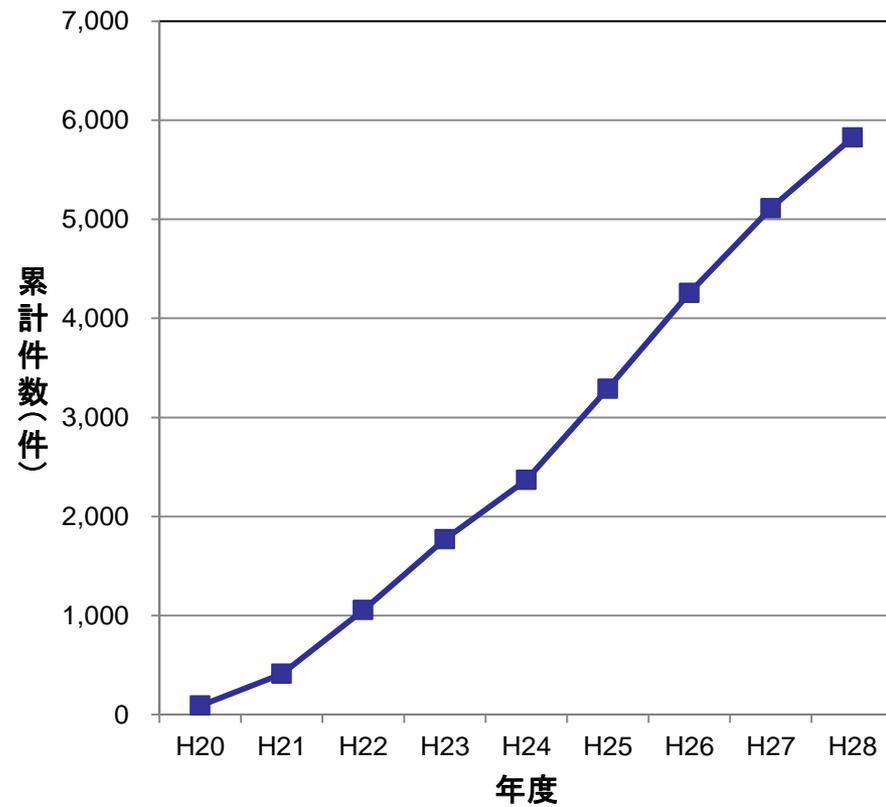
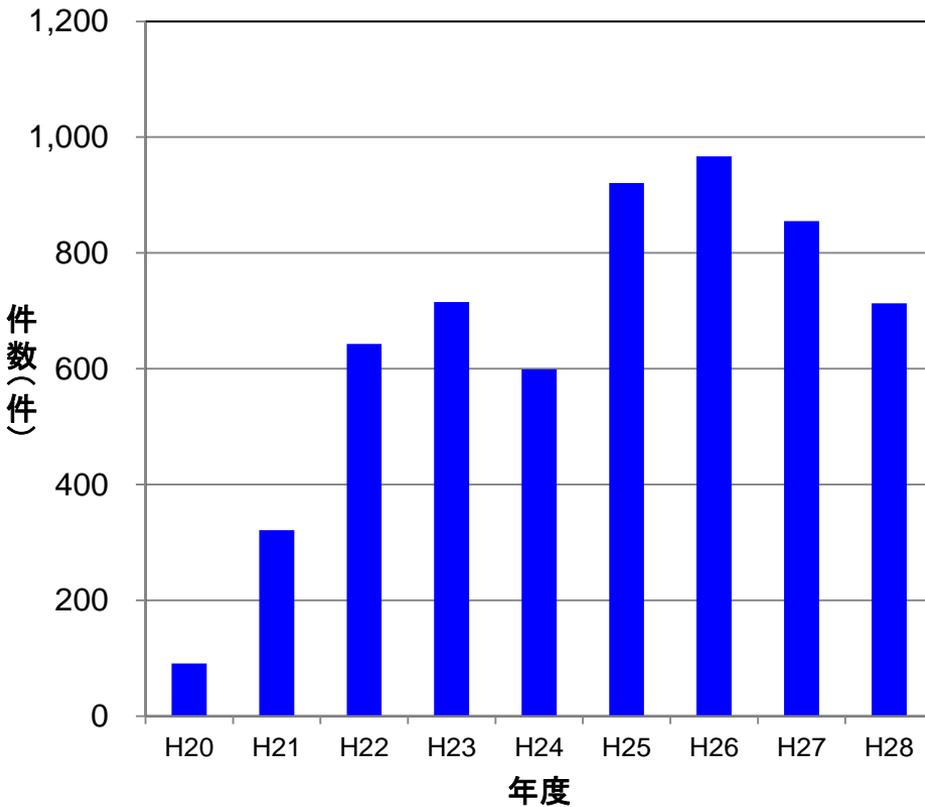
HP

4. 問合せ状況(1/6)

年度別問合せ件数

※平成28年度のみ2月末まで

累計

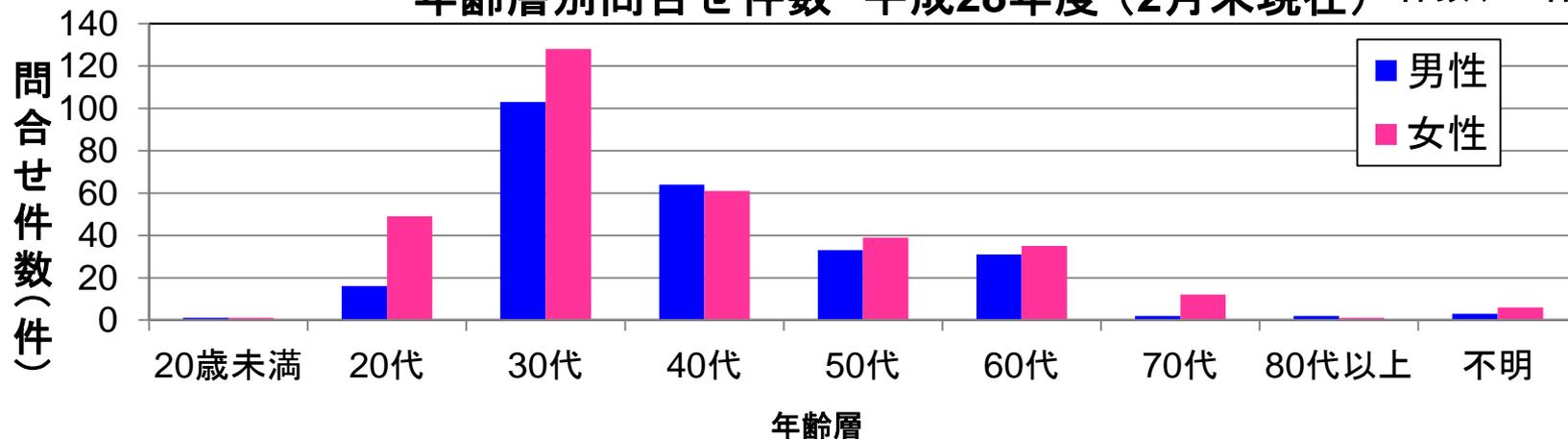


平成26年度をピークに**若干減少傾向**

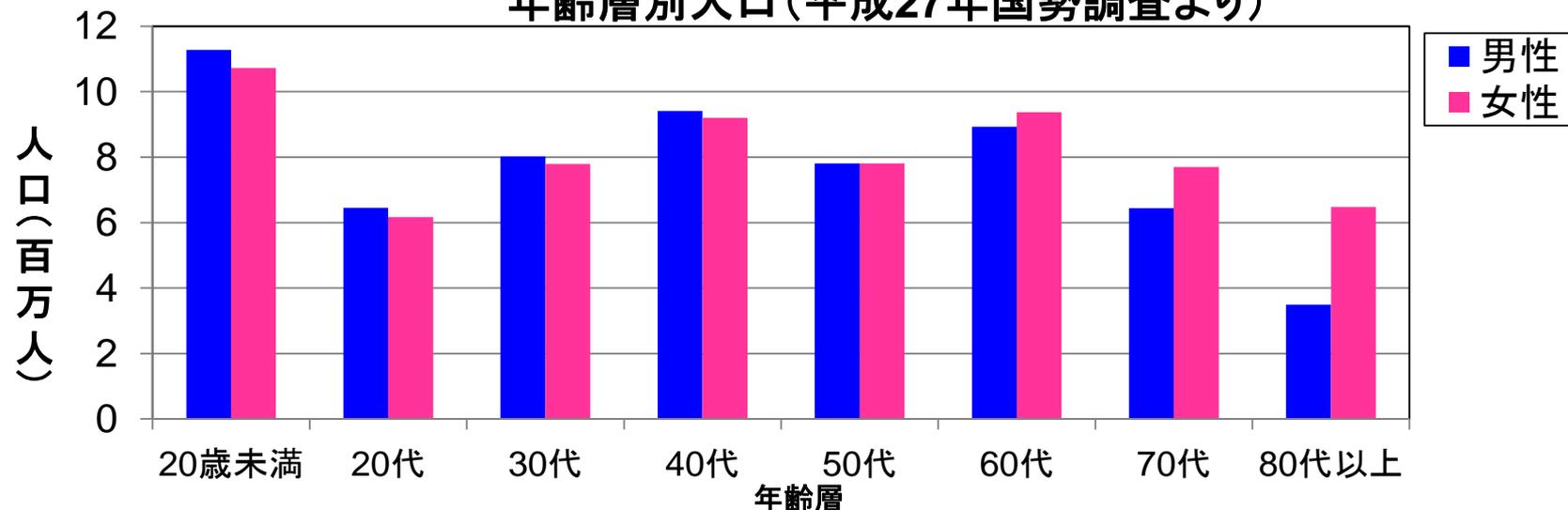
4. 問合せ状況(2/6)

※重複者(126件)を除いた

年齢層別問合せ件数 平成28年度(2月末現在) 件数(587件)を分類



年齢層別人口(平成27年国勢調査より)



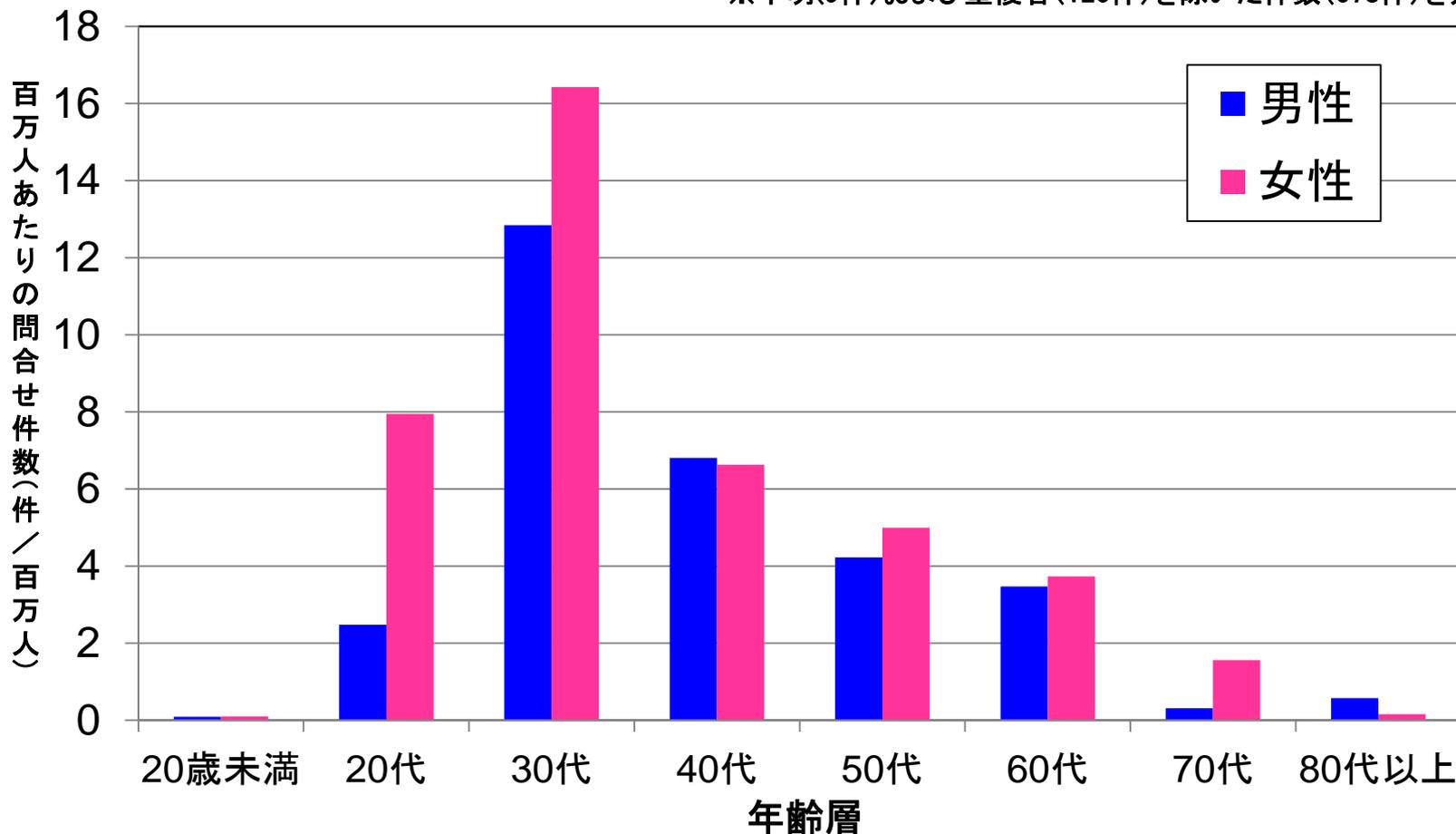
2つのグラフより百万人あたりの問合せ件数を算出

4. 問合せ状況(3/6)

年齢層別人口百万人あたりの問合せ件数(年代・性別)

平成28年度(2月末現在)

※不明(9件)および重複者(126件)を除いた件数(578件)を分類

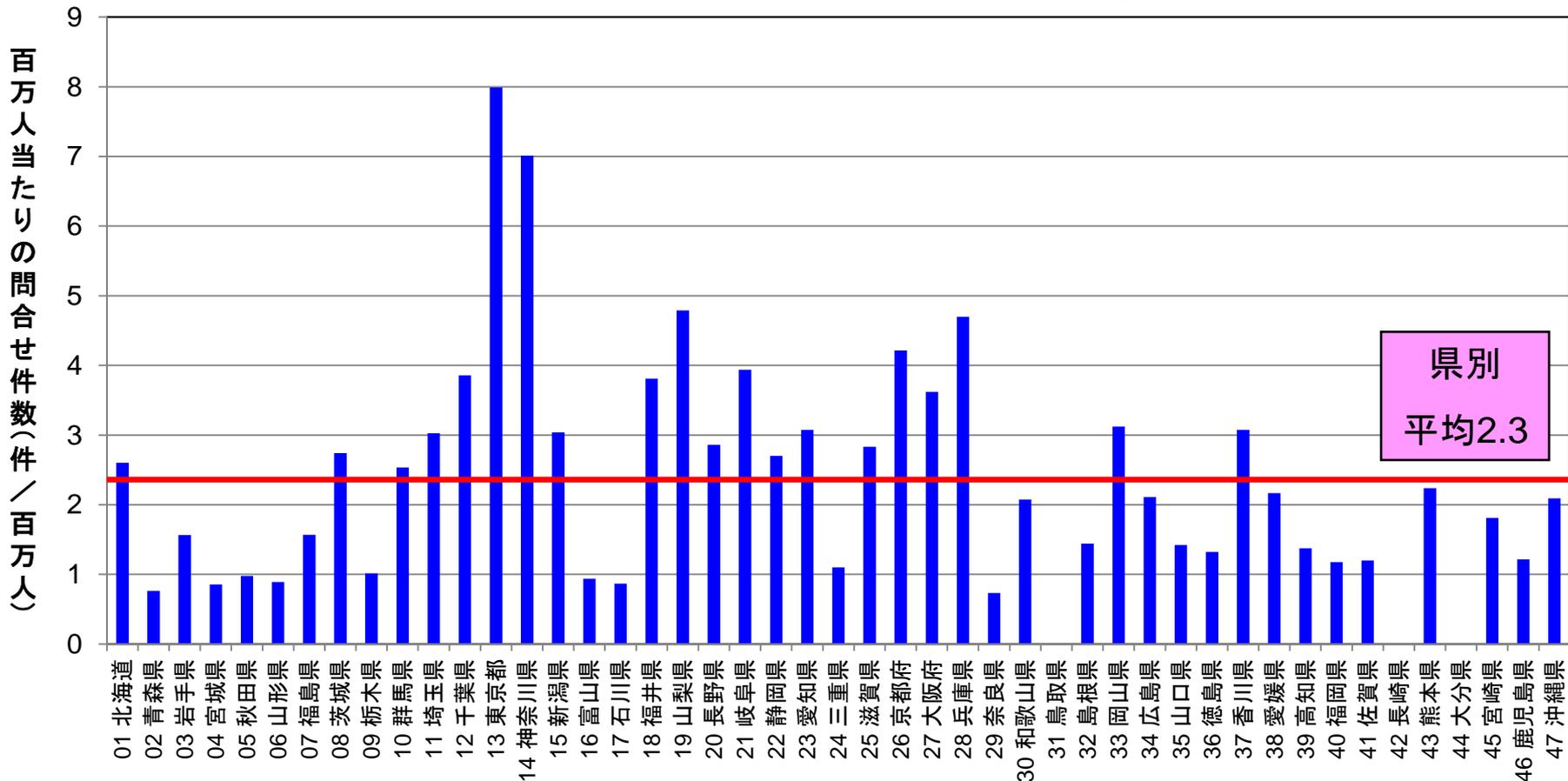


年齢層別人口百万人あたりの問合せは、**30代、20代女性**が多い

4. 問合せ状況(4/6)

都道府県別人口百万人あたりの問合せ件数 平成28年度 (2月末現在)

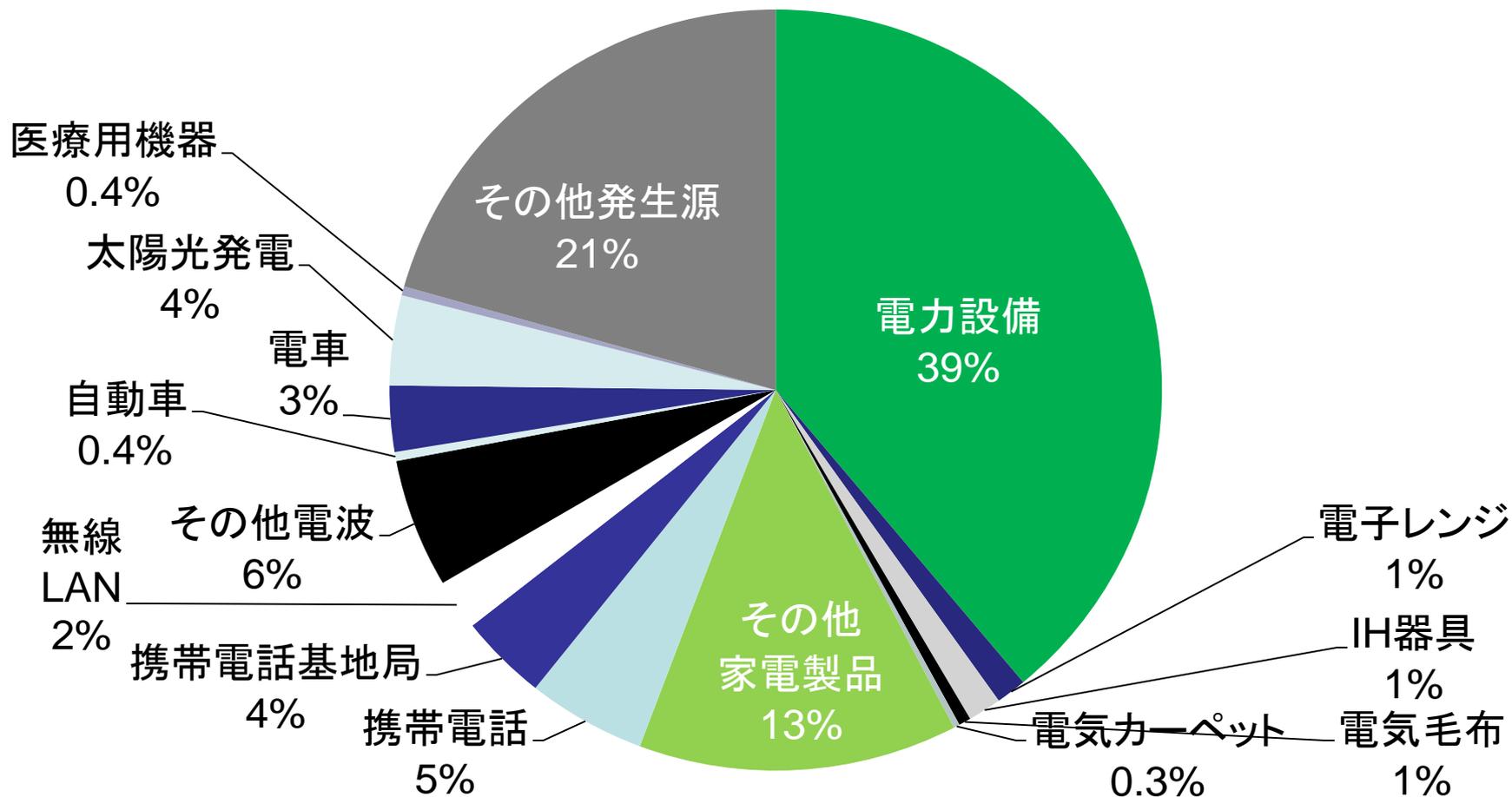
※都道府県不明(148件)および重複者(126件)を除いた件数(439件)を分類



都道府県別百万人あたりの問合せは、**人口密集地**が多い

4. 問合せ状況(5/6)

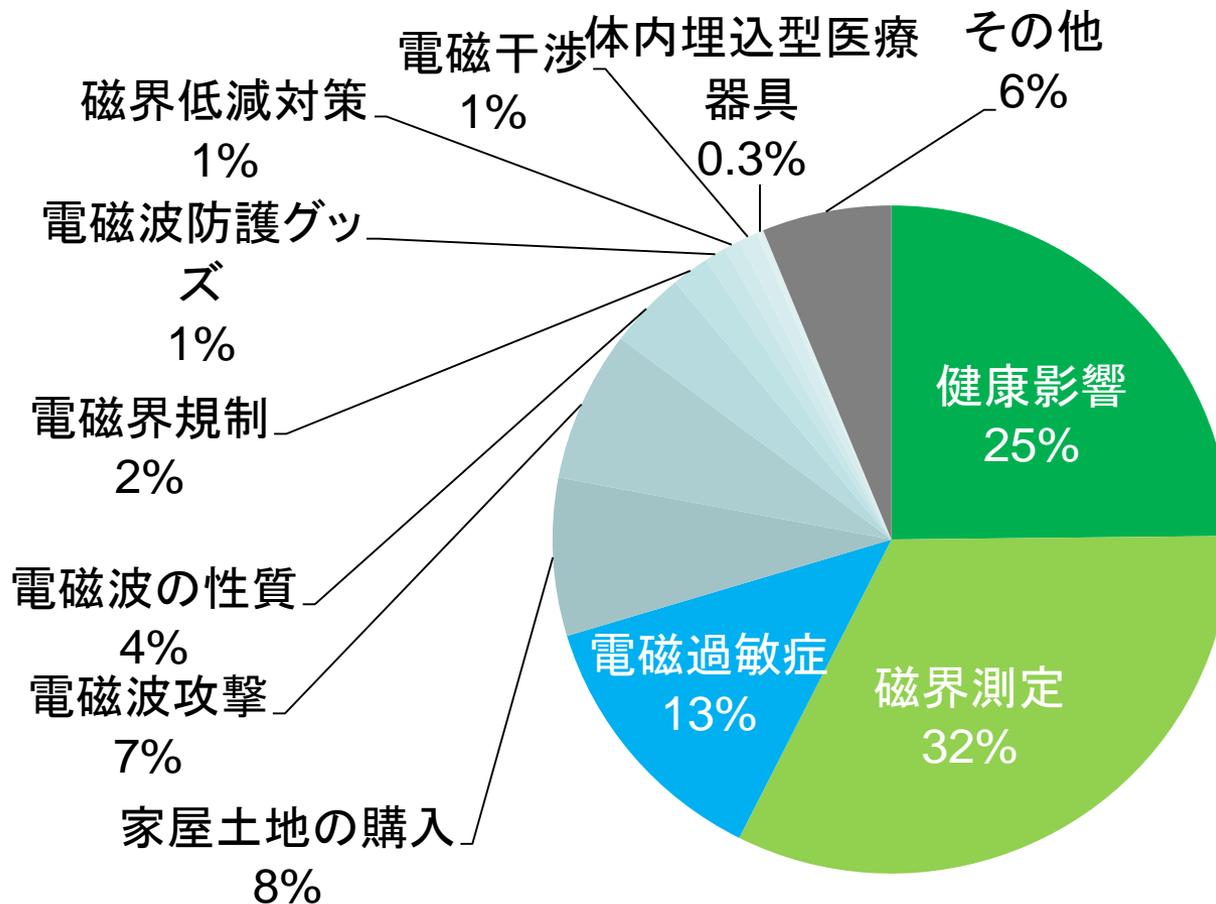
発生源別問合せの割合 平成28年度(2月末現在)



電力設備が約4割と多い

4. 問合せ状況(6/6)

内容別問合せの割合 平成28年度(2月末現在)



健康影響、磁界測定、電磁過敏症で7割を占めている

5.情報の媒介者を対象とした情報提供活動(1/2)

ランチョンセミナー



(ランチョン) 日本地域看護学会、日本公衆衛生学会
日本薬学会、日本養護教諭教育学会など

(広告) 日本衛生学会、日本助産師学会
全国学校保健学会、全国養護教諭研究大会など

抄録集等への広告掲載

一般財団法人 電磁安全健康研究所(JEIC)

JEIC 電磁界情報センター
Japan EMF Information Center

私たちは電磁波(電磁界)の健康影響に関する最新の情報を提供しています。

JEICは、経済産業省の「電力設備電磁界対策ワーキンググループ」の政策提言を受けて設立された組織です。

◆国際機関の見解 ◆研究報告 ◆メディア情報など

国内外の情報調査・分析

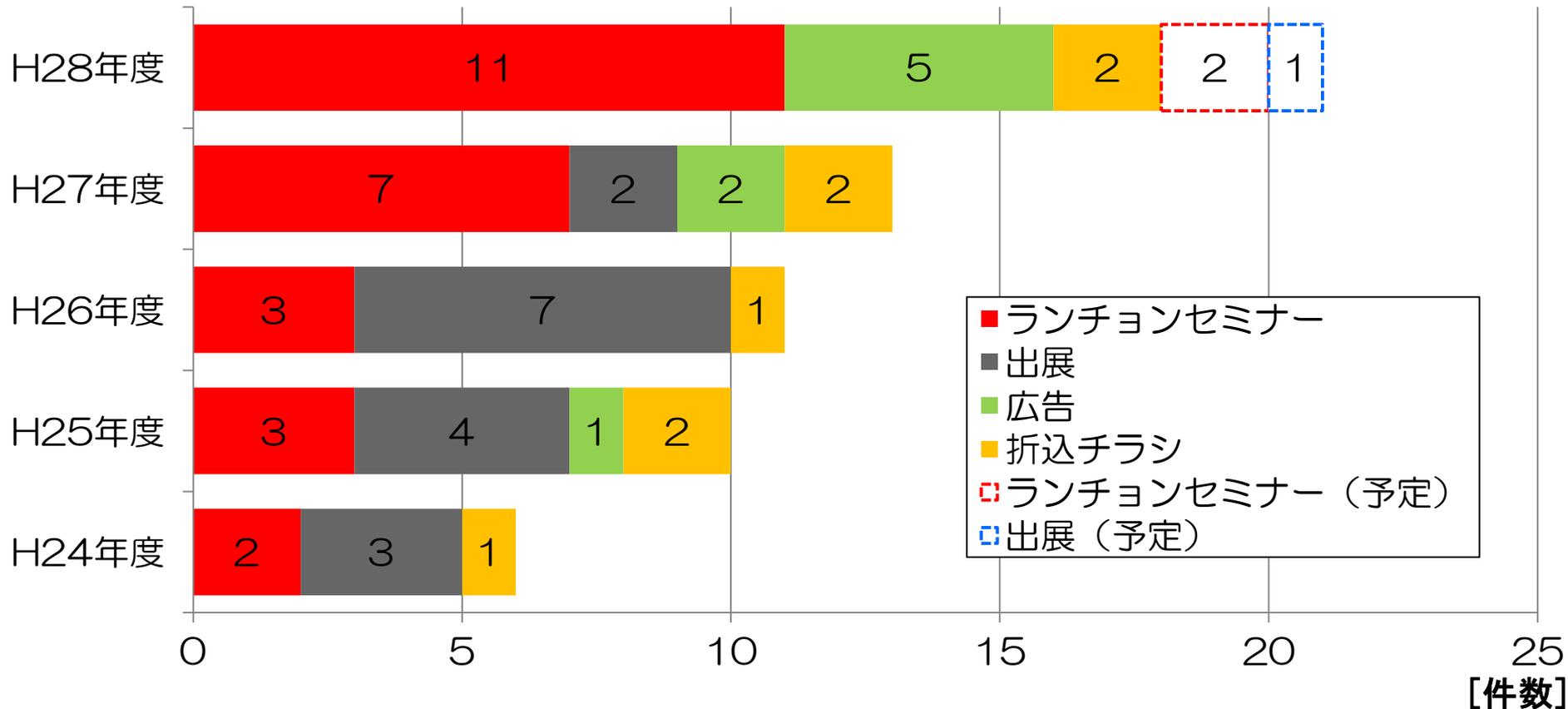
<p>ホームページ</p> <p>国内外の最新の情報を検索して、ホームページに掲載しています。 【主な内容】 ◆国内外の最新情報 ◆各種パンフレット ◆電磁界情報データベース</p>	<p>電磁波セミナーの開催</p> <p>電磁波に不安や疑問を持つ方に少しでも理解を深めていただくために、世界保健機関(WHO)などの科学的な見解をわかりやすくお伝えすることを目的としたセミナーを全国各地で開催しています。</p>
<p>電磁界情報データベース</p> <p>国内外の電磁界に関する論文や文献などを収集しデータベースとして保存・公開しています。 収録数 13,000以上</p>	<p>講師の派遣</p> <p>職場やコネクター、生涯教育機関などの勉強会へ講師派遣しています。 ※無料、詳細内容はお問い合わせください。</p>
<p>ニュースレター・メールマガジン</p> <p>最新の短見・電磁波の解説などの情報をお知らせするため、ニュースレター(毎月)とメールマガジンを発行しています。</p>	<p>低周波磁界測定器貸出</p> <p>身のまわりの電磁波の強さを知っていただくことを目的に、電力設備や家電製品から発生する低周波磁界の測定器を無料で貸し出すサービスを行っています。</p>

電磁波の健康影響に関するご質問を受け付けています。

お問い合わせ 電話窓口 URL: <http://www.jeic-emf.jp/> TEL: 03-5444-2631 電磁界受付時間 平日9:00-17:00(10:30-13:00を除く)
FAX: 03-5444-2632 mail: jeic@jeic-emf.jp

5.情報の媒介者を対象とした情報提供活動(2/2)

学校保健・衛生関係学会等への参加状況 (2月末現在)



○電磁波の健康影響に関する啓発効果が高いと考えられる、専門職が参加する学会でランチンセミナーを開催。2月末現在で1,573名が参加。

○ランチンセミナー参加者から電磁界パンフレット請求77件、講師派遣依頼4件問合せがあり情報媒介の効果が現れている。(集計期間:H28.8.23~H29.1.21迄)

6. 対象層特化活動(妊婦の知識啓発)(1/3)

超低周波電磁界の健康影響については、「小児白血病」との関連が指摘されていることもあり妊婦等からの電磁界ばく露に伴う胎児への健康不安の問合せが多数寄せられおり、妊婦の過大な不安を払拭させ、正しい理解促進に繋がるような知識啓発活動が重要。

啓発活動 概要

1. 妊婦向けパンフレットの作成 平成26年3月～平成27年10月
中林正雄 委員長（母子愛育会総合母子保健センター所長）他5名にて作成
平成27年10月 妊婦向けパンフレット完成・配布開始
2. 今年度の実施内容
 - 4月 「健やか親子21」入会およびホームページにパンフレット掲載
 - 4月 2～3日 マタニティ&ベビーフェスタ(横浜)出展
 - 5月27～28日 日本助産師学会出展
 - 7月 日本産科婦人科学会のホームページを介してパンフレットを紹介
 - 10月14日 日本母性衛生学会総会・学術集会ランチオンセミナー
 - 10月 厚生労働省が推奨している「マタニティマーク」とのタイアップによる広告
 - 2月 (公財)母子衛生研究会との調整

6. 対象層特化活動(妊婦の知識啓発)(2/3)

日本産婦人科学会ホームページ

公立・公的病院、専攻医指導施設等の
産婦人科医師公募情報

研修会開催申請

>> こちらから <<

公益社団法人 日本産科婦人科学会
事務局
〒104-0031
東京都中央区京橋3丁目6-18
東京建物京橋ビル 4階
TEL: 03-5524-6900
FAX: 03-5524-6911



子宮頸がんの本当の怖さは、
「知られていないこと」
かもしれない。

最新のお知らせ 議論録一覧 お知らせ一覧
マークは会員ログインが必要です

2016年7月1日 **NEW**

2017年度(平成29年度)以降に初めて日本産科婦人科学会認定専門医(学会専門医)資格取得をめざす会員、あるいは今年度(平成28年度)以降に学会専門医更新時期を迎える会員へのお知らせ

日本産科婦人科学会機関誌に関するアンケートを実施いたします。

産婦人科未来委員会「若手委員」公募のお知らせ

JICA草の根技術協力事業／カンボジア工場労働者のための子宮頸がんを入口とした女性のヘルスケア向上プロジェクトのNewsletter2016年5月号を掲載しました。(317KB)

公立病院・公的病院および専攻医指導施設の産婦人科医師公募情報(JSOG-JOBNET)を更新しました。

電磁界情報センター発行の妊婦向け電磁波説明ガイド「プレママのための知って安心、電磁波のこと」について詳しくは以下のURLをご参照ください。

http://www.jeic-emf.jp/assets/files/pdf/ninpu_pnf2_015.pdf

女性特有の疾患について

妊娠を知ろう

婦人科腫瘍委員会
ホームページ

登録・調査小委員会
ホームページ

女性ヘルスケア委員会
ホームページ

登録施設一覧
専攻医指導施設
ART / 婦人科腫瘍 / 周産期登録施設

地方学会
連合地方学会

国際医療情報
(産婦人科に関する国際情報)

関連学会・研究会
学術集会開催予定 (PDF)

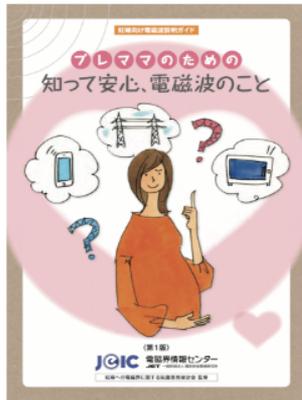
6. 対象層特化活動(妊婦の知識啓発)(3/3)

健やか親子21ホームページ



- 概要 About
- ニュース News
- イベント Event
- お問い合わせ Contact
- 一般の方向け General
- 専門の方向け Expert
- 企業の皆様へ Companies
- 資料 Document

検索



電磁界情報センター
「ブレママのための 知って安心、電磁波のこと」

公益財団法人 健康・体力づくり事業財団
「健康づくりサポートします」

公益社団法人 日本栄養士会
「3歳頃までの子供の食事。」

日本SIDS・乳幼児突然死予防学会
「乳幼児突然死症候群（SIDS）の発症を予防しまし
う！」

日本家族計画協会U-COMピアシャトル
「U-COM」

日本産科婦人科学会
「児童虐待防止のための女性支援」

日本子ども健康科学会
「子どもの心・体と環境を考える会」

日本歯科医師会
「公益社団法人 日本歯科医師会活動について」

日本性感染症学会



Twitter

Facebook

ご案内

健やか親子21について

Healthy Parents and Children 21

取り組みの目標値

推進協議会参加団体

推進協議会資料提供

地方計画

データベース

母子保健・医療情報データベース

乳幼児健診情報システム

取り組みのデータベース：検索

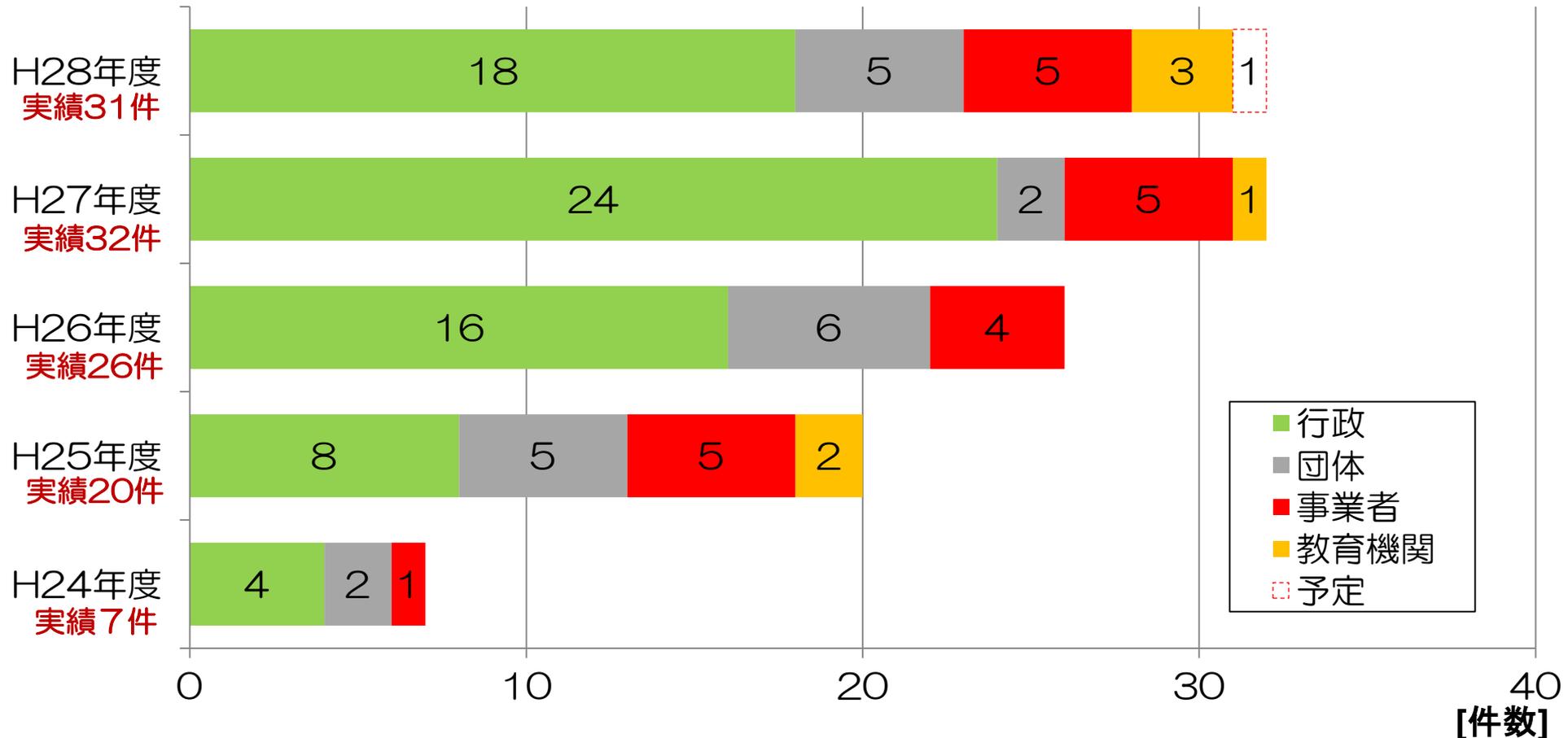
取り組みのデータベース：登録

e-サポート

7.要請による電磁界説明会(1/1)

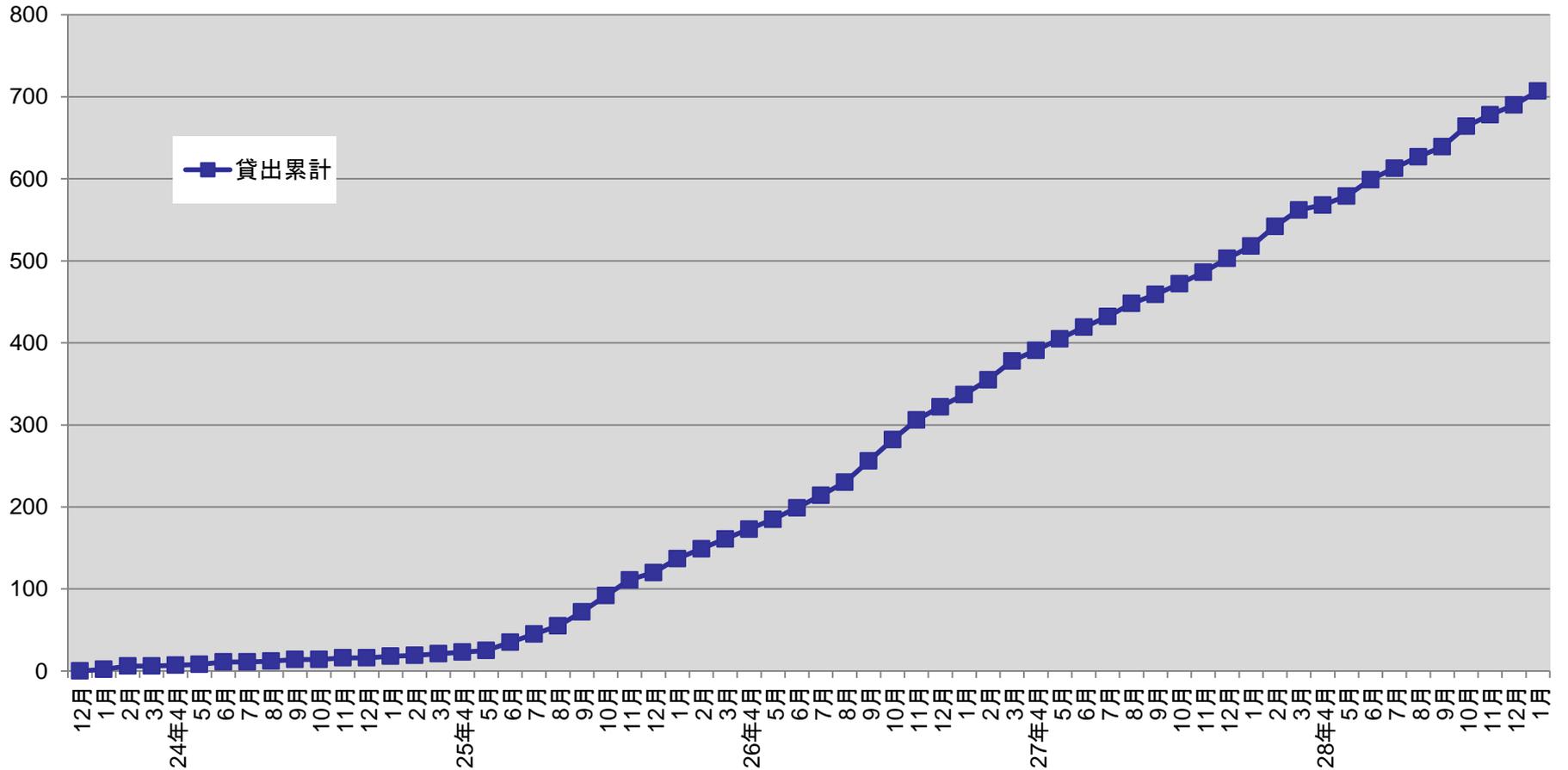
講師派遣依頼等への対応状況 (2月末現在)

身のまわりの電力設備、家電製品やIH調理器、携帯電話等から発生する電磁波の健康影響に関する講演等



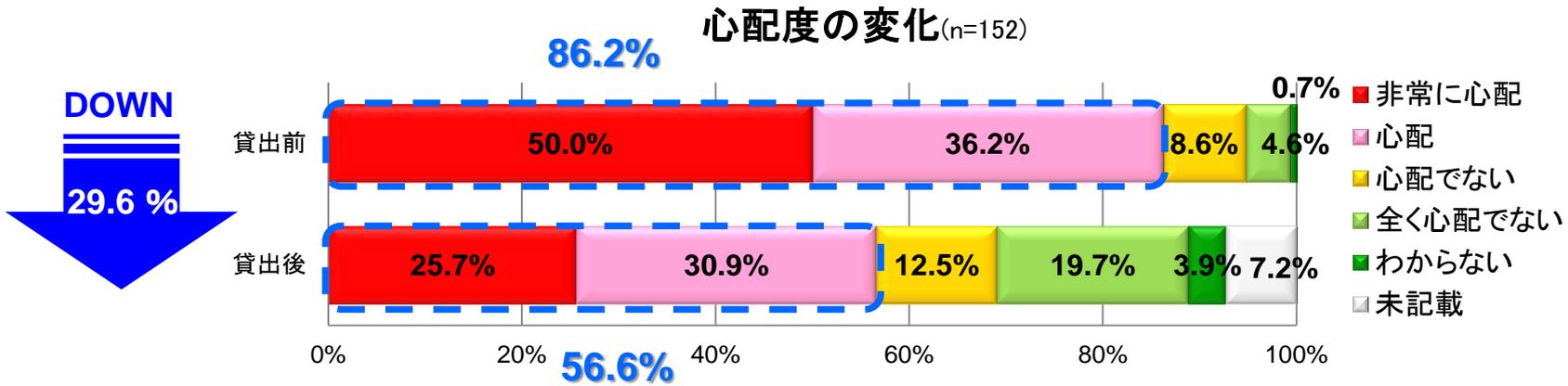
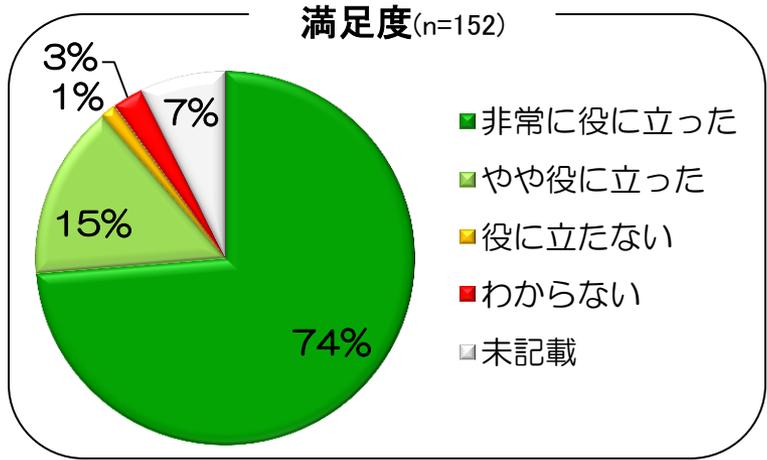
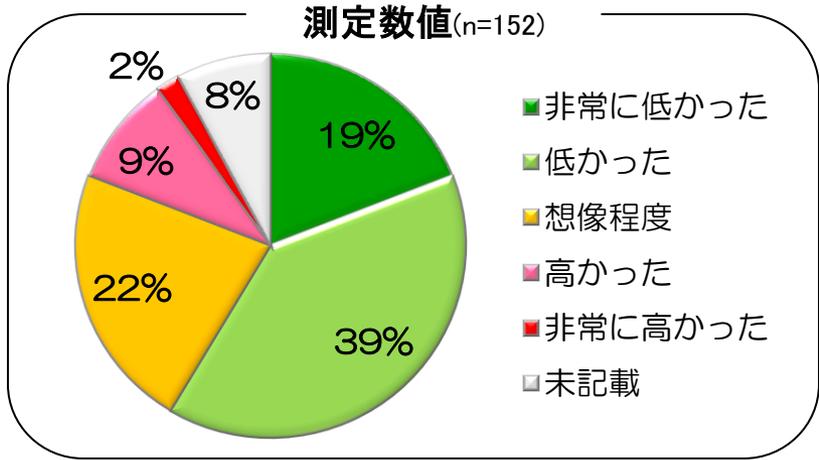
8. 磁界測定器貸出(1/2)

測定器貸出件数 累計
※平成28年1月末集計



8. 磁界測定器貸出(2/2)

平成28年度アンケート集計結果による評価 ※4月1日～2月24日集計



心配している人の割合が29.6%減少